

SDGsを地域へ!「みんなで学び行動する」 持続可能な未来をいっしょにつくっていきましょう!



生活協同組合パルシステム群馬

高崎市



- ▶ 代表者: 反町 幸代
- ▶ 設立年月日: 2002年5月2日
- ▶ 資本金: 8億9,200万円
- ▶ 従業員数: 150人
- ▶ 住所: 高崎市中大類町120-11
- ▶ TEL: 027-384-4774
- ▶ Mail: gunma-seisaku@pal.or.jp
- ▶ URL: <https://www.palsystem-gunma.coop/>

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

組合員数 45,244人 (2020年6月末時点)
 総事業高 51.9億円 (2020年3月末時点)
 事業所 高崎センター: 高崎市中大類町120-11
 渋川センター: 渋川市渋川2835-1
 東毛センター: 太田市新井町1148-1

その他施設
 ばなの家 (地域活動施設): 吾妻郡中之条町西中之条600
 消費生活協同組合として組合員を集い、食品や生活用品等を指定の場所までお届けしています。

経緯・背景

当組合の組合員の方から、ご自身のお子様が行われている学校でSDGsに関連した学習と交流の場を持ってないかとの声をいただき、学校・当組合の担当で意見交換の場を持ち、足掛け3年、2年前から交流を行い、現時点まで継続して行っています。



具体的な取組

取組内容としてはSDGsの基礎知識と「世界の現状」、「世界的全体視点で見た日本」等についての学びと交流の場をともに創っています。具体的には講習会や実習(残り染め)、ゴール1に向けた具体的な取組「フードドライブ」の共同開催(補助)等を提案・実施しています。



集まった数量 761点 219.35kg すべてフードバンク北関東・まえばしに寄付しました。

成果・効果

日本国内ではなかなか気づくことができない世界の状況と、世界における日本の立場等について学ぶことは良い意味で刺激的であったとの感想をいただいています。また、座学のみでなく経験に基づいての活動は楽しみながら行えるとのことでした。その様子を聞いた他の学校等からもお問い合わせをいただき、新たに講習会を実施し、活動の呼びかけを行ったところ、生徒から自発的にフードドライブの実施の提案をいただくことができました。複数の団体と一連の活動を通じて連携の輪を広げられる手ごたえを感じています。実際に2021年には前述の団体(5団体)と合同でフードドライブと寄贈式(報告会)を実施することとなりました。すべての団体が自発的に活動をすすめており、合同で企画開催している効果があらわれていると感じています。

大人は当然のことながら、これからの社会を担うであろう子どもたちも巻き込んで活動していくことを大切にしていきたいと思っています。



■実習「残り染め」 残った野菜の皮等を使ってハンカチの染め物を行いました。

当社にとってのSDGsと、その展望

SDGsは文字通り、豊かな未来を創るための計画書であり、世界の様々な国とともに理解し、ともに目指していけるものだと思います。私どもは微力ではありますが、経験に基づいた学びと交流をもってSDGsを地域に広げ、組織単体ではなく、地域全体で「持続可能なくらしやすい社会」を創っていきたくと思っています。